



名古屋市長持寺住職川口高風様ととも
(龍谷院客殿にて)

龍谷院
たより

発行所 龍谷院
愛知県岡崎市城部
通里町下町野呂1300
TEL.029-289-3108
FAX.029-289-3025
編集人 副部 義光

晋山式特集号

ごあいさつ

新年おめでとつございます。
平成二十二年庚寅の年を迎えました。

昨年は当山四十四世の晋山式にはお檀家の皆様、千葉龍泉寺役員様、茨城町慈雲寺役員様には大変お世話になりました。改めて感謝申し上げます。

法要には大勢の方々のお力添えを頂き、盛大に円成出来ました。このことを感謝しつつ、安堵の日々を送っています。

今年も寅年です。「虎は千里行つて、千里帰る」とよく言われます。虎のように元氣な威勢のある一年にしたいところです。

日本人の多くは大晦日にお寺で除夜の鐘を打つたり聞いたりして一年を振り返ります。元日になりますと神社へ初詣に出かれます。一神教の国から見ると不思議に思われます。

日本人は信仰心が無いといわれながらも、全国の神社仏閣を参詣する人は人口の七割約九千万人いるそうです。これは驚きです。

干支の十二支を漢字で書きますと動物の干支と違います。

職 園部 義光

なせでしょう、と言ってお話です。

たとえば、「寅」と「虎」、「丑」と「牛」、「子」と「鼠」のように通っています。これは中国から伝えられたもの、「子」とは中国語の意味は「種」の意味で、「丑」は「結ぶ」という意味、「寅」は「のびる」とか「のぼす」という意味です。

十二ヶ月を意味し、五穀豊稔を意味しているように思います。

日本伝来して爾来、覚えやすいようにと言うことで、動物と結びつけて覚えてと言う説です。興味ある話を聞いたように思います。

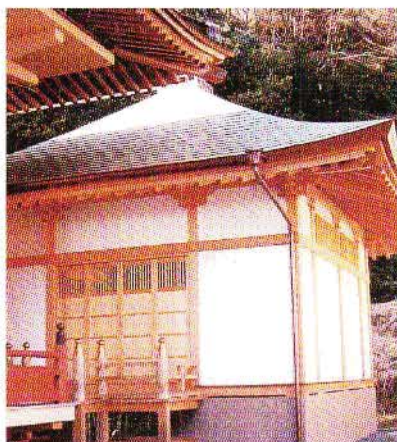
今年の五月に大雄山最乗寺に於いて、開山了庵慧明禪師六百回大遠忌法要の導師を務めることとなりました。つきましては、お檀家の方二十名ほどを参拝に同行お願いしたいと思えます。是非ご参加ください。詳細につきましては募集要項をご覧ください。

皆様にとりまして良い一年が過ごせますようご祈念いたします。今年も宜しくお願ひ申し上げます。

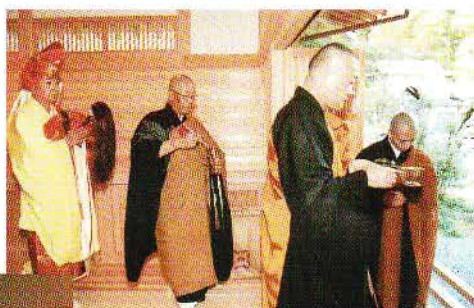
龍谷院四十四世 晋山式行わる

平成二十一年十月二十三、二十四日の両日に亘り、龍谷院四十四世住職耀月義光和尚の晋山式が、大本山永平寺の御専使様をはじめ、大本山総持寺御専使様、曹洞宗茨城県宗務所長様、そして県内外八

十余ヶ寺の方丈様、総代、世話人、梅花譚の皆様、さらに一般檀信徒など多数の参列のもと、厳粛に執り行われました。以下、順を追って、式典の様子をお知らせ致します。



位牌堂



浄道場(清めの式)

一、位牌堂 落慶式

先ず最初に、二十三日午後二時半から祇園寺住職小原宣弘大方丈を導師として、位牌堂落慶法要が執り行われました。位



上香献湯菓茶(茶菓子を供える)

牌堂建設はこの度の晋山式の記念事業としましてお檀家の浄財を仰いで建設致しました。大きさは三間四方九坪の総檜造りです。内陣は約六百位の位牌が納めることが出来ます。尚、位牌の集集は後日、発表致しますのでしばらくお待ち下さい。

二、開山忌法要

この晋山式を修行するに当り、当山開山秀峰宗岱大和尚の五百回大遠忌報恩供養を務めました。導師は愛知県名古屋法持寺ご住職川口高風老師に特別お願いいたしました。

川口老師は愛知学院大学の教授でもあります。遠路お越しいただき、ご挨拶匹堂と言ってお役目と二役を務めていただきました。



導師入堂

三、首座 入寺式

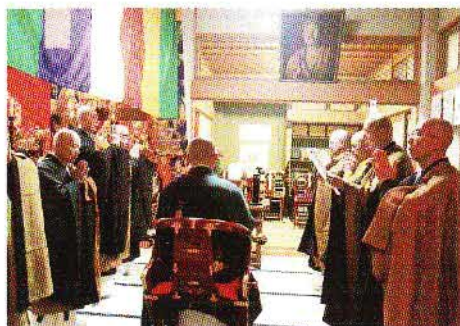
この儀式は首座（首座へ修行僧の第一番の重要な役）という役目の修行僧が住職の命（いのち）によってその役目の位（ゐ）に着く儀式です。この度は、千葉県香取市竜泉寺の増田芳裕が首座を務めました。



首座就位

四、土地堂 念誦

龍谷院の土地堂神（しん）に対しこの晋山式が無事終了できますようにご祈願申し上げます。導師は新任住職が務めました。



念誦

五、本則配 役行茶

この晋山式の法要にあたり、それぞれの御寺院さまに配役が発表され、また各役員（やくいん）の配役も発表されました。その後、明日の法坐（ほふざ）（首座の法戦式）に行われる問答について提唱が川口西堂老師より行われました。そして、参加者全員でお祝いのお茶を飲みます。



制中配役

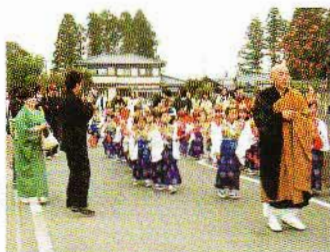
六、晋山式

去る十月二十四日(晋山式当日)

午前七時安下処(上阿野沢、川野辺博様宅)で、新命住職が川野辺家の先祖供養の内誦経を務めましたあとに、それぞれの役目のお坊さんと役員の皆様、梅花講員の皆様、稚児行列に参加した皆様と大勢の方々が行列をつくって龍谷院へ向かって出発しました。



新命和尚安下処



稚児行列

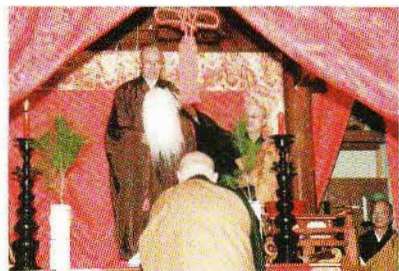
山門の前で、入山の志(決意)等を読み上げます。これを山門法語といいます。



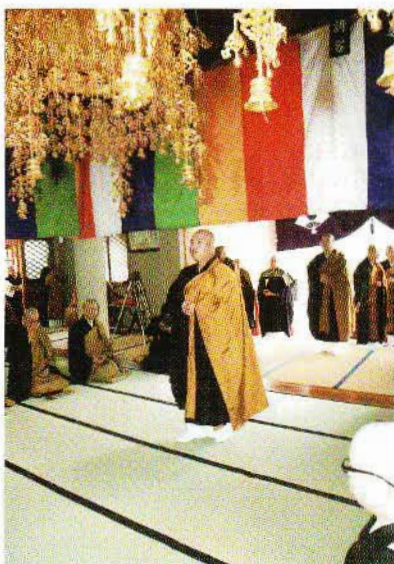
山門法語

七、晋山開堂

新命和尚が須弥壇上に登って問答をする儀式です。その前にご本尊さまを始め道元禪師、登山禪師、歴代の住職そして自分の本師栄重宗天和尚への報恩のこぼを述べてから、その後、問答の開始となります。



須弥壇上の新命住職



問答

古今の思い

城里町孫根 三村保次

平成二十二年度を皆様と一緒に迎え出しましたこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は晋山式と言う考えもしなかった事に遭遇したのですが、二年と言う準備期間に、役員始め檀家の皆様には献身的に御協力頂き、賑やかにそして式が成功し、瑞雲山龍谷院第四十四世新命住職蘭部義光和尚誕生、その名を広く知らしめる事ができました事、この上ない喜びで御座居ます。益々のご発展をお祈り申し上げます。

さて、折角の紙上ですのでお借りして御礼のご挨拶をさせていただきます。

総代をお引受してから客殿の新築に始まり、境内の整備、

観音堂の新築など色々な事が御座居ました。そして昨年晋山式。此の間十数周年に亘り、檀家の皆様方のご指導ご協力

に依り、総代の職を続けて行つて来ましたが、体力的に限界と考え、昨年十二月をもつて総代の任務を辞任する事になりました。長い間檀家の皆様にご協力ご指導いただきました事に深く感謝申し上げます。礼のご挨拶といたします。紙面も限られておりますので簡単にしてお許し下さい。



安下処にて記念写真

晋山式に参加できたこと

龍谷院梅花講 加藤木一子

「ドンドン、ドドン」花火を合図に、晋山式の会場となる龍谷院に向う稚児行列が出發しました。秋空の朝、安下処となった家からお寺まで、約八百メートルの道のりを、旗を先頭に、稚児さん、お坊様、私達梅花講員、主役の御住職、御詠歌をお唱えしながらの行列です。この日のためにと、

歩きながらの立行の稽古を重ねてきましたが、成果のほどはさだかではありません。道中は厳かな中にもわきあいあいと楽しい行列となりました。

お寺に到着してからも沢山の行事が執り行なわれ、その中でも印象に残ったのは、住職としての力量を問われると

いうお坊様方との問答です。住職が本堂中央の高い壇上上がり、数人のお坊様からの難問に即座に返答する行です。

難しい言葉で、大勢の人の前で堂々と立派に披露する姿に、改めて感動し尊敬しました。

構想から準備、実行まで足かけ三年もかかる、住職として一生に一度の晋山式という大事業の一端に携われたことは、大変幸せなことだと感じました。



稚児行列

龍谷院晋山式並びに位牌堂建設収支報告書

平成21年11月29日

収入の部

寄付金等 JA水戸かつら支店扱い 307件 同上 利息	16,370,000円 1,888円
ゆうちょ銀行 野口局扱い(304)274件 (手数料89,390円)11,575,000円 服各院追加寄付金	11,485,610円 1,818,400円
合 計	29,675,896円

支出の部

位牌堂建設費 設計管理費(中建築設計) 建築工事費(飯具建設)	945,000円 15,094,000円
晋山式関係費	13,636,896円
合 計	29,675,896円

収入29,675,896円-支出29,675,896円=0(残金)
以上をご報告いたします。

平成21年12月14日
実行委員会 委員長 橋原 務
会 員 加藤 勇一
会 計 青柳 勇
会 計 川崎多喜男

本会計につき、去る11月29日領収書、預金通帳・帳簿等
を照合監査いたしましたところ、適正であることを認めます。

監 査 川野辺 博
監 査 宇留野景徳

晋山式寄付感謝録

平成二十一年十月二十四日

一 庭の簡易舗装修理	一 座布団 百枚	兵庫 越賀 公道 様
一 祝い金 金一封	一 遠山文様 総子	大阪 関 宗園 様
一 祝い金 金一封	一 金襴 総子	
一 龍文様御水引	一 名古屋 梅金商店	
一 オケキ仏具社長 金一封	一 祝い金 金一封	
一 刺繍袈裟 一幅	一 晋山式記念品 数珠	
一 晉岡 岡田 正道 様	一 京都 木崎旭法衣店	
一 西村 眞典 様	一 晋山式記念品 掛け軸	
	一 日立 鏡 徳 寺 様	
	一 晋山式記念品 忽	
	一 桜川 洞 源 寺 様	
	一 晋山式記念品 忽	
	一 船引生花店	
	一 祝い金 金一封	
	一 晋山式記念品 数珠	
	一 京都 木崎旭法衣店	
	一 晋山式記念品 掛け軸	
	一 日立 鏡 徳 寺 様	
	一 晋山式記念品 忽	
	一 桜川 洞 源 寺 様	

『編集後記』

一生に一度の晋山式はまさに絵巻物を見る思いでした。今頃は晋山式持集号として、一連の式典のようすを写真集の形でお知らせしました。その中で、式典に参加しての感想文を書せてくださった方々に心からお礼を申し上げます。写真説明の用語がむずかしいと思いますが、よく文字を見てみると、なんとなくわかるのではないかと思えます。もう少し、春が訪れます。皆様お元氣にお過ごしください。

編集委員 杉山三千雄

大雄山最乗寺御開山

了庵慧明禪師六百回大遠忌龍谷院住職焼香師参拝団
～～～鎌倉・箱根、大雄山最乗寺～～～

この度、了庵慧明禪師六百回忌の導師を最乗寺より奉職され、つとめることになりました。このご縁をいただいた記念旅行です。皆様
の参加をお待ち申し上げます。 住職

- ◎期 間 平成22年5月17日(月)～19日(水)、2泊3日
- ◎旅行費用 ¥39,500円(交通費・宿泊料・その他含む)
飯倉寺より一人当り18,500円補助します。(58,000円の内)
- ◎申 込 金 ¥10,000円(旅費に充当)
- ◎募集人員 20名(2月中旬/切、又は定員になり次第/切)

第4回 龍谷院ゴルフ大会開催

— 参加者募集中 —

開催予定日

平成22年

5月13日(木)

城里ゴルフクラブ

参加費

3,000円

※プレー費は個人負担 納め切り4月末

※豪華賞品の用意あり

※ゴルフ場が変更になる場合もありますのでご了承下さい。

